

3年以上にわたって、影響を及ぼし続けた新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活やこれまで本会が推進してきた地域福祉推進事業に大きな影響を与えました。

地域における多くの福祉活動が困難となり、新たな生活困窮者のニーズや生活課題・地域課題があらわれ、その対応に追われた年月でした。

羽曳野市では、コロナ特例貸付の相談をされた方が延べ7,712件（令和4年9月で終了）にのぼり、その償還が令和5年1月より始まりました。新たな生活困窮に陥らないよう、相談者の意向を尊重しながら、支援事業にさらにつなげるなど、困窮する市民に寄り添い丁寧な支援を行いました。

羽曳野市とともに、一体的に推進している「第4期羽曳野市地域福祉計画」と「第4期羽曳野市地域福祉活動計画」は、小学校区をベースとした地域・行政・専門機関そして本会が情報を共有し、それぞれの役割を持ち積極的に協力しながら地域福祉ネットワークの充実をさらに進めました。

地域福祉活動では、新型コロナウイルス感染症予防を徹底的に行ない、長らく中止を余儀なくされた子育てサロンや会食会などを、校区福祉委員会、民生委員児童委員協議会、各種団体及び行政のご協力を得て開催し、皆様に大変喜んでいただきました。

個別支援活動では、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の行う総合福祉相談をはじめ、保育園で行っているスマイルサポーター事業により、相談者が抱える個別の課題解決に向けて支援しました。

在宅福祉活動では、安心して利用していただけるように徹底した感染予防対策を行い、訪問介護事業、居宅介護支援事業など「そこに大切なあなたがいる」の理念の基、ご利用者やご家族に寄り添った介護事業を行いました。

各種募金活動等の推進では、日本赤十字社の活動資金、共同募金、歳末たすけあい運動募金、献血推進事業、災害時義援金活動に取り組み、コロナ禍の中にもかかわらず、多くの皆さまからご支援をいただき事が出来ました。

「あおぞら保育園」・「ベビーハウス社協」の2カ所の認可保育園では、保護者の協力や徹底した感染予防対策を行うことで、安全安心な保育園として運営することができました。

地域の子育て支援の拠点として、育児相談、園庭開放、緊急一時保育（ベビーハウス社協のみ。）などを実施し、地域の皆様から信頼され、親しまれる保育園運営を行い、財政運営にあたっては経費削減に努め健全化を図りました。

当会が実施する自主事業の貴重な活動財源となる「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」は、多くの皆様からのあたたかいご理解とご協力をいただき、今年度も昨年に引き続き安定的な組織運営と基盤の強化を図る事が出来ました。

以上のとおり各種受託事業をはじめ、自主事業においても、健全な運営を行う事が出来ました。

事業ごとの取り組み内容は以下のとおりです。

令和4年度事業報告

■ 役員会議

・理事会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和4年6月3日	羽曳野市役所 別館2階研修室	令和3年度事業報告について 令和3年度収支決算について	12人
令和5年2月20日	羽曳野市役所 別館2階研修室	令和4年度第1次補正予算(案)について 令和5年度事業計画及び予算(案)について 役員等賠償責任保険契約の内容(案)について	15人

・評議員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和4年6月20日	羽曳野市役所 別館2階研修室	令和3年度事業報告について 令和3年度収支決算について	19人
令和5年3月7日	羽曳野市 保健センター4階 大会議室	令和4年度第1次補正予算(案)について 令和5年度事業計画及び予算(案)について	18人

・監事監査

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和4年5月23日	別館3階特別会議室	令和3年度監査	2人

■ 組織強化

自主財源となる福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金 (令和5年3月31日現在)

令和4年度 1,070,640円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

4,117,422円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

250,000円

・法人運営

道路交通法改正に伴いアルコール検知器を用いた運転者の酒気帯びの有無の確認を始めました。
災害時等における作業に備え、防寒着及び作業着等の貸与を行いました。

■ 社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名 称	発行回数	発 行 月 等	備 考
社協だより	年4回発行	5月・8月・10月・1月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年3回発行	9月・12月・3月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年12回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	——	随時更新 http://www.hasyakyo.net/	
介護保険事業連だより	年6回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会 ・在宅部会 ・施設部会 ・地域密着部会

■ 地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内 容	場 所
令和4年6月21日(火)	校区福祉委員会連絡会 「ひきこもりに関する理解」	市役所別館2階研修室
令和5年1月26日(木)	校区福祉委員会研修会 「校区福祉委員会の運営について(マニュアル説明・会計処理等)」 「ヤングケアラーについて」	市役所別館3階会議室
令和5年2月17日(金)	校区福祉委員会連絡会 「LINE WORKS(ラインワークス)のご紹介」	市役所別館2階研修室
令和5年3月28日(火)	小地域ネットワーク活動リーダー研修会 (録画配信)	市役所別館2階研修室

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。

地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動における地域福祉推進に繋げました。

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

総会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について提案
研修会	令和5年3月3日 羽曳野市保健センター 4階大会議室 テーマ 「BCP(事業継続計画)の基礎知識について」 講師 ミネグアパリティス株式会社経営コンサルティング部 大久保 勇吾 氏
役員会	令和4年10月24日・11月8日 令和5年1月19日・3月16日
法人案内ホームページでの活用	ホームページを活用した法人紹介
行政との連携及び要望	羽曳野市に物価高騰に対する緊急対策についての予算要望を提出 令和4日12月20日 要望書提出 羽曳野市と災害時応援協定を締結 令和5年1月25日 締結式

その他

専門職ネットワークオンライン交流会や、他市との施設連絡会交流会・事例検討会に参加

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ、地域福祉の増進に寄与しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、各校区福祉委員会では感染予防対策を行い活動していましたが、やむなく行事が中止・延期となる校区がありました。

校区名	各事業の実施箇所数 (単位：箇所)						小地域 ネットワーク ※3	雅び ※4
	いきいきサロン (喫茶サロン含む)	ふれあい食事 サービス	地域リハビリ 事業 (百歳体操含む)	世代間 交流	子育て支援 こどもの居場所 (サロン) 活動 ※1	その他 ※2		
1 古 市	2	3	0	6	10	13	H11	H15
2 高 鷲 北	0	1	0	0	1	0	H11	H14
3 埴 生	3	4	9	4	3	9	H13	H16
4 埴生南	10	8	5	2	1	0	H12	H16
5 羽曳が丘	1	1	1	2	1	0	H10	H14
6 丹 比	1	1	0	1	0	0	H11	H16
7 駒ヶ谷	3	1	3	1	1	1	H14	H17
8 古市南	3	1	2	0	1	0	H14	H15
9 西 浦	1	0	4	0	2	1	H13	H18
10 西浦東	0	1	0	0	0	1	H12	H24
11 恵我之荘	1	1	0	2	1	0	H12	H14
12 白 鳥	1	2	3	2	1	0	H12	H15
13 高 鷲	1	2	1	1	1	0	H10	H14
14 高鷲南	0	2	4	0	1	0	H10	H14
合 計	27	28	32	21	24	25	157	

※1 古市校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※2 その他

各分類以外のもので、清掃活動や夜警、緑化活動などが入ります。

※3 小地域ネットワーク事業

小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動（設置年度）

※4 ふれあいネット雅び

小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティーネットの確立を目指す活動（設置年度）

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図っています。

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、学校からの依頼も少なく予定していた取組みについても多くが中止となりました。

日付	学校名・学年	派遣ボランティア	内容
令和5年11月29日	はびきの埴生学園3年生	点訳サークルひまわり	点字を活用した名刺づくり

・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という2本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動に活かし、また地域支援活動が個別支援活動に活かされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

令和3年度からは、中・西・東の3エリアCSWの統括として4人目のCSWを配置し、CSWのスーパーバイザーとしての役割を担っています。

統括相談対応件数 : 88件

◎CSW介入の必要性

- ・制度の利用は可能であるが、本人が支援を拒否される場合、ゆるやかな見守り体制を構築していく必要のある事例。
- ・家族の中で複合的な課題を抱えている場合、障害・高齢・児童それぞれの制度につないでいく必要のある事例。
- ・民生児童委員が地域で発見し把握された相談の中で、専門職支援が必要のある事例。
- ・なんらかの理由で家から外出することができなくなった「ひきこもり」と呼ばれる方々が、社会参加するための支援。

◎CSW介入の成果

- ・複合的な生活課題を抱えられている方からの相談をワンストップで受け、関係機関につなげ、スムーズな支援につなげることができる。

◎最近多くなっている相談

- ・「家族の問題」としてずっと潜在化しており、問題が顕在化した時には、生活が立ち行かなくなってしまう事例（50代ひきこもりの子・80代高齢親）
- ・養育困難、ゴミ屋敷等、犬・猫・イタチ等の小動物の問題
- ・子育て不安、介護負担など「ちょっとした相談」をする人がいなくて、抱え込んでいる事例
- ・地域の100歳体操やカフェなどの行き場所がないという高齢者からの相談、ご近所トラブルなど

① 地域支援活動

(単位:回)

	東部CSW	西部CSW	統括CSW	合計
<u>第4期羽曳野市地域福祉計画の推進、第4期地域福祉活動計画の策定</u> <u>他機関との協働</u> 第4期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、羽曳野市地域福祉ネットワーク交流会、教育福祉連絡会、羽曳野市地域自立支援推進会議、要保護児童対策協議会、市CSW連絡会、中河内・南河内CSWブロック会議、エリア・ブランチ会議、大阪しあわせネットワーク・スマイルサポーター連絡会・ひきこもり支援連絡会・校長会・街歩きイベント・茨木市ひきこもり居場所づくり・サポステ・生活困窮地域ネットワーク会議・地域福祉コーディネータースキルアップ研修・SSW連絡会等	53	44	51	148
<u>住民懇談会の開催</u> 校区懇談会・子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議・小地域ネットワーク会議・校区福祉委員会連絡会	12	33	6	51
<u>要援護者の組織化支援</u> 介護者家族の会・高次脳機能障がい当事者の会、家族の会の取組み支援社協WEST（就労準備・ひきこもり支援）	1	5	4	10
<u>地域住民などを対象とする研修会の開催</u> ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会 認知症サポーター養成講座等	4	4	0	8
<u>災害時要援護者支援ネットワーク構築事業</u> 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	4	5	0	9
<u>地域拠点へのアウトリーチ（出張相談）</u> ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」 コミュニティひろば、西浦ほっとサロン、カフェさんさん、喫茶ひだまり ふるなん高齢者パソコン教室、ふるなん喫茶「絆」、喫茶サロン「いしかわ」、等への訪問相談・移動販売車停留所での相談受付・民生委員定例会・校区福祉委員会会議	11	13	5	29

② 個別支援活動

(単位:件)

相談内容別	東部CSW	西部CSW	合計
	件数	件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	84	86	170
生活に関する身近な相談	88	101	189
健康・医療に関する相談	101	61	162
生活費に関する相談	28	19	47
就労に関する相談	4	15	19
多重債務に関する相談	1	1	2
消費者被害に関する相談	0	0	0
財産管理・権利擁護に関する相談	3	3	6
住宅に関する相談	19	8	27
子育て世帯に関する相談	7	8	15
DV・虐待に関する相談	3	6	9

地域福祉・ボランティア活動に関する相談	15	3	18
災害時要援護者に関する相談	28	12	40
ひきこもり	18	13	31
フードバンク	1	3	4
その他	0	0	0
合 計	400	339	739

(単位：件)

相談対象者別	東部 CSW	西部 CSW	合 計
	件数	件数	件数
高齢者	113	61	174
障がい者	9	37	46
子育て中の親子	14	13	27
一人親家庭の親子	2	5	7
青少年	2	0	2
DV被害者	2	9	11
生活困窮者	10	11	21
ひきこもり	17	11	28
ボランティア	4	0	4
ヤングケアラー	1	1	2
外国籍	1	4	5
その他（一般）	72	6	78
合 計	247	158	405

※一度に複数の相談事項があるため、合計とは一致しません。

・生活困窮者自立支援事業

だれもが生活困窮に陥るかもしれない恐れがある社会の中、生活困窮のさまざまな原因に対し、専門の支援員が相談に応じ支援計画を策定し、その方にあった自立に向けて支援を行います。

(単位：件)

相談内容別	件数
新規相談受付件数（本人同意なしを含む）	322
新規相談申込件数（本人同意ありのみ）	129
支援決定・作成プラン件数(再プランを含む)	63
病気や健康、障害のこと	81
住まいについて	33
収入・生活費のこと	214
家賃やローンの支払いのこと	74
税金や公共料金の支払いについて	21
債務について	40
仕事探し、就職について	53
仕事上の不安やトラブル	16
地域との関係について	2

家族関係・人間関係	27
子育てのこと	15
介護のこと	13
ひきこもり・不登校	10
DV・虐待	6
食べるものがない	35
その他	30

※一度に複数の相談事項があるため、受付件数等とは一致しません。

住居確保給付金申請内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
離職	1	1	6	3	0	1	4	1	3	1	1	1	23
減収	0	1	0	0	3	0	0	1	1	1	0	0	7
合計	1	2	6	3	3	1	4	2	4	2	1	1	30

・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

大阪府社会福祉協議会権利擁護推進室からの委託事業で、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより毎日の暮らしに必要なことの判断や意思表示を自分自身で適切に行うのが困難な方を対象に、生活支援や金銭管理などをお手伝いする事業です。令和4年度は新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら対面のやり取りを再開しました。

相談者	一般相談 件数	サービス提供の ための活動件数	新規契約 件数	解約件数	年度末 実利用者数
認知症高齢者	96件	176回	0件	2件	7人
知的障がい者	243件	678回	0件	2件	13人
精神障がい者	769件	2051回	3件	2件	29人
その他	0件	0回	0件	0件	0人
合計	1108件	2905回	3件	6件	49人

専門員・生活支援員参加の研修会等

大阪府社会福祉協議会主催の各種会議・研修会に参加

・会食会事業

小学校区ごとに、校区内のひとり暮らしの高齢者を対象に年3回民生児童委員との共催により会食会を実施。地域との交流を深めるとともに健康増進に寄与しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、業者のお弁当を配布するテイクアウト形式で行いました。

校 区	第1期	第2期	第3期	計
古 市	103	97	90	290
古市南	87	87	78	252
白 鳥	26	34	39	99
高 鷲	47	48	46	141
高鷲北	0	0	48	48
高鷲南	38	44	48	130
恵我之荘	30	30	44	104

埴 生	28	0	0	28
埴生南	68	59	62	189
羽曳が丘	133	137	148	418
西浦東	43	39	47	129
丹 比	47	51	63	161
駒ヶ谷	53	55	52	160
西 浦	30	27	42	99
合 計	733	708	807	2248

計38回開催 延べ参加人数2,248人

※駒ヶ谷校区、西浦校区は埴配食

※令和4年6月22日高鷲北校区、9月28日埴生校区、11月16日高鷲北校区、令和5年1月25日埴生校区は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

・生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活の安定ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

【貸付状況】

区 分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	36件	51件	21件	7,911千円
教育支援資金	34件	40件	21件	15,411千円
総合支援資金	0件	0件	0件	0千円
不動産担保型生活資金（要保護含む）	2件	5件	0件	0千円
緊急小口資金	18件	23件	6件	565千円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件	0円

《新型コロナウイルス感染症特例貸付》

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、収入の減少・失業した方がおられる世帯を対象に、令和2年3月25日より受付開始。臨時職員増員により、相談支援体制の整備を図った。※特例貸付は9月末をもって終了。

(単位：件)

区 分	相談	申込
緊急小口資金 (R4年度)	270	159
総合支援資金 (R4年度)	229	168
延べ件数 (R2.3~R4.9)	7,712	5,507

・避難行動要支援者支援ネットワーク構築事業 (旧：災害時要援護者支援ネットワーク構築事業)

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、校区福祉委員会や町会・民生委員児童委員など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようという制度です。登録者数が増えることで、平常時からの地域の見守り、支えあいの輪がいつそう広がりました。

避難行動要支援者

- ①身体障がい者手帳（1級、2級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
- ②療育手帳（療育A）の交付を受けている方
- ③精神障がい者保健福祉手帳（1級）の交付を受けている方
- ④障がい者手帳をお持ちで一人暮らしの方

- ⑤要介護度3以上の方
- ⑥65歳以上のお一人暮らし、75才以上のみの世帯
- ⑦昼間のみ⑥の状態になる方
- ⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
- ⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数

(単位：人)

古市	高鷲北	埴生	埴生南	羽曳が丘	丹比	駒ヶ谷	古市南
385	181	365	429	417	415	96	430

西浦	西浦東	恵我之荘	白鳥	高鷲	高鷲南	合計
238	129	214	152	350	356	4,157

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が全校区で行われています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るなかで開催となりました。各校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会で開催に向けての会議を重ね、それぞれの校区福祉委員会独自の開催時期となりました。

校区ごとの参加人数は下記のとおり。

(単位：人)

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
116	139	88	70	12	77	26	開催無し

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんぴ	こまがたに	合計
68	60	131	67	開催無し	27	881

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

- ・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数 340日

- ・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	移送保険	合計
団体数	89件	232件	3件	0件	324件
人数	1,246人	12,547人	15人	0人	13,808人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

(単位：件)

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
59	46	13	7	11	136

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、例年実施されている事業が中止となる場合もありました。

講座名	日程・場所	内 容
ボランティア体験プログラム	令和4年7月1日～ 9月30日 あおぞら保育園・羽曳野 市役所・羽曳が丘中公園	大阪府社会福祉協議会の主催で毎年開催されているプログラムで、子どもから社会人、高齢者などボランティア活動参加の機会とボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする場の提供を目的として校区福祉委員会や施設などに受入れを依頼し、共催している。
傾聴ボランティア養成講座	中止	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止めるボランティアを養成するために開催している。初心者必須の講座。
精神保健福祉ボランティア養成講座	令和4年6月9日、 16日、23日、30日	こころの病を持つ方が増加傾向にある現代、その方々が安心して暮らせる地域を一緒に作るために、精神障がいについて正しい知識を得ることで偏見や差別をなくすことを目的に開催している。
朗読ボランティア 河南ブロック代表者会議	令和4年10月1日	各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、例年幹事市へ出向いて録音技術や朗読スキルアップ、会員募集、リスナーさんの拡大などテーマを決めて、現状報告・情報交換などの意見交換を行う。
小学生ボランティアスクール	令和4年8月2日	小学生ひとりひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育てるボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催している。
市民活動わくわく講座 アート・バルーン養成講座	令和5年3月7日 総合福祉センター2 階・3月15日 エコプラザはこふ	手先が器用で、人と関わることが好きな市民の方は多数いると思われるため、自分の特技を活かして福祉ボランティアができることを知ってもらい、ボランティア活動の啓発を目的とする。また、バルーンアートは男女問わず誰でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい企画した。

市民活動わくわく講座 災害ボランティア養成講座	令和5年2月25日	南海トラフ地震や、近年多発している台風などによる風水害に備えて、ボランティア経験者をお招きし災害ボランティアの技術を学ぶ機会を設けるとともに、羽曳野市で災害が起きた際に現地で活躍してもらえる人材の確保を目的に企画した。今回はボランティアセンターでのマッチングシミュレーションカードゲームを体験した。
市民活動わくわく講座 傾聴ボランティア養成講座	中止	傾聴の知識は他のボランティア活動をおこなう場合でも必要なスキルであるため、ボランティア活動入門の場として企画した。市内でボランティア活動に興味がある方にとって気軽に始めやすい分野であることから、ボランティア入門として広い視野をもってニーズキャッチをはかることを目的とする。

・ボランティア連絡会の育成・援助

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、やむなく中止となる事業がありました。

ボランティア連絡会総会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により書面審議
定例幹事会	毎月第2水曜日
その他主な活動 大阪府市町村社協ボランティア連絡会総会 大阪府市町村社協担当者会議 大阪府市町村ボランティア連絡会オンライン研修会 河南ブロック交流会 大阪府市町村ボランティア連絡会代表者オンライン会議 大阪府市町村社協担当者会議 市民体育祭 キッズファミリーフェスタ in はびきの 小学生ボランティアスクール 会員研修 市民マラソン大会 市民活動フェスタ2022 障がい者団体行事・高齢者施設行事 保健センター各種教室	令和4年 5月30日/大阪府社会福祉会館 令和4年 8月4日/大阪府社会福祉会館 令和4年12月20日/ボランティアセンター 令和4年11月24日/大阪府立近つ飛鳥博物館 令和5年 2月3日/大阪府社会福祉会館 令和5年 3月3日/大阪府社会福祉会館 令和4年 6月12日/羽曳野市立中央スポーツ公園 令和4年 7月31日/LICはびきの 令和4年 8月2日/羽曳野市役所別館2階 コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和4年12月11日/石川スポーツ公園 令和5年 3月19日/エコプラザはにふ コロナウイルス感染拡大防止のため中止 コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・災害ボランティアセンター事業

地域住民の災害ボランティアに対する意識を高めるために災害ボランティア養成講座や情報交換会を企画し、災害ボランティアへの参画を促しています。

昨年度に引き続き、災害ボランティアセンター設置時に使用する備品を整備しました。

羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」とともに、災害ボランティアセンター設置時に協力できる体制作りに向けて連携し、講座を企画しました。(会員数 22名)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、やむなく事業が中止となることがありました。

羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」勉強会	中止	災害ボランティアセンターが設置される際に社協とともに運営に携わるための知識や技術を得るために設立された「ブランバード」とともに、ボランティアセンターを実際に設置することでレイアウトや動線などを具体的に並べる体験を経て気づきを得ることを目的とした勉強会を企画した。
3市合同災害ボランティア担当者会議・連絡会議	令和4年 6月3日 7月8日 8月5日 10月7日 11月4日 令和5年 2月10日 3月17日	柏原市・羽曳野市・藤井寺市の3社協合同で災害ボランティアセンターについての情報交換を行い、災害ボランティアセンターの運営体験プログラムの企画について話し合った。令和4年度は羽曳野市が幹事市となり議事進行や意見のとりまとめを行った。
3市合同災害ボランティア養成講座	令和4年 10月23日	3市合同災害ボランティア養成講座として、災害ボランティアセンターと社協の機能、災害ボランティアセンターマッチング体験ゲームを3市で登録しているボランティアグループに向けて実施した。
三市合同総合防災フェア	令和4年 11月20日	三市合同で、ブースを設置し、災害ボランティアセンターの啓発やアシスト瓦の作成体験を行った。
令和4年度大阪府災害ボランティアセンター運営シミュレーション	令和5年 1月25日	大阪府内のブロックごとに、ZOOMを使用して会場をつなぎ、ICTを使用しての被災状況や支援の見積もりの作成の確認を行った。

■ 実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪公立大学	5人	令和4年5月9日～5月12日のうち2日間	2日
大阪公立大学	5人	令和4年5月16日～5月19日のうち2日間	2日

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	1人	令和4年6月6日～7月9日	26日間
四天王寺大学	1人	令和4年11月13日～11月26日	9日間

・社会福祉相談援助演習特別授業

大学名	人数	内容	場所	派遣人数
四天王寺大学	54人	羽曳野市社会福祉協議会の事業と役割	四天王寺大学	2名

■ きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成27年7月1日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

○きらプロ講習会内容

活動に際して講習会を開催

きらきらシニアプロジェクトはじめて講座	令和4年5月24日・6月27日・7月26日・9月27日・11月29日・令和5年1月31日
---------------------	--

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

○サポーター（ボランティア）登録者数 354人

○市が指定した市内の介護保険施設などにおける介護保険支援サポーター活動を対象としている。

サポーター受入登録施設 65施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設を登録しています。

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大により、サポーター受入れができない高齢者施設が多くありました。

■ 在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保険施設との連絡調整等を行いました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防に努めサービスを提供しました。

※サービス提供に伴う感染拡大を予防するため「大阪府新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金」を活用し、衛生物品を整備しました。

・新規介護相談件数 …… 70件

・要介護認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕 (単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	39	32	16	13	8	108
内4年度新規	15	6	3	3	0	27

・要支援認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕 (単位：人)

	要支援1	要支援2	事業対象者	計
利用者数	14	14	2	30
内4年度新規	5	6	1	12

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) 63件 (生活保護法介護扶助) 0件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防に努めサービスを提供しました。

※サービス提供に伴う感染拡大を予防するため「大阪府新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金」を活用し、衛生物品を整備しました。

ホームヘルプサービス利用状況 (年度末現在利用者数)

(単位：人)

利用者数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい	総合計
介護保険	総合事業	1	20	10						31
	訪問介護				12	7	0	4	6	29
障がい	居宅介護								18	18
	重度訪問介護								0	0
合計	1	20	10	12	7	0	4	6	18	78

・福祉有償運送事業 (移送サービス事業)

家庭において移送が困難な要介護高齢者及び重度身体障がい者に対して、ボランティアのみなさんのご協力を得ながらリフト付自動車を利用して移送サービスを行っていますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためボランティア及び利用者の安全面を考慮し活動を休止しました。

また、今後の再開に向けて社協だよりを通じてボランティアの募集をおこないました。

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

(単位：件)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	31	23	19	19	21	30	28	34	22	26	24	29	306

【斡旋】

紙オムツ・トレーニングパンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

・羽曳野市介護保険事業者連絡協議会との連携

総会	令和4年6月13日（月） 対面及びZOOMでの開催 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について提案
研修会	令和4年6月13日 テーマ「ハラスメントについて」 講師 けあ人材アカデミー株式会社 代表 垣内イスズ氏
各部会	居宅部会 16回 在宅部会 9回 施設部会 2回 地域密着部会 3回 小規模多機能部会 3回
法人案内ホームページでの活用	ホームページを活用した施設紹介

その他

専門職ネットワークオンライン交流会参加や、フードパントリーへの協力等

■ 介護者家族の会の育成と援助

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・援助をおこなっておりますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、役員会・事業を中止せざるをえませんでした。

(その他) 河南ブロック介護者（家族）の会交流会

大阪府介護者（家族）の会交流会（役員の皆様の体調不良や、担い手の不足により、役員会等への参加が難しくなったため、令和4年1月31日をもって退会となった。）

■ 各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える活動資金運動に積極的に取り組みました。

【社資募集実績】

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	612,300円	西浦地区	947,150円
高鷲地区	1,065,440円	丹比地区	169,650円
埴生地区	444,700円	羽曳が丘地区	748,160円
駒ヶ谷地区	332,000円	大阪支部扱い	1,536,589円
合 計		5,855,989円	

【事業】・羽曳野市赤十字奉仕団研修 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【街頭募金活動】： 令和4年10月3日 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、古市駅と高鷲駅(市内主要駅2か所)で時間を短縮して実施。

【共同募金実績額】

戸別(町会)	法人	学校	街頭	バッジ	実績額
2,673,643円	74,484円	236,949円	19,494円	452,000円	3,456,570円

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	433,000円	丹比地区	112,200円
高鷲地区	612,880円	西浦地区	329,850円
埴生地区	352,150円	駒ヶ谷地区	137,000円
羽曳が丘地区	420,500円	事務局扱い	276,063円
合 計		2,673,643円	

※地区募金会理事会 令和4年9月1日(市長会議室)

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	409,300円	丹比地区	184,950円
高鷲地区	633,998円	西浦地区	260,700円
埴生地区	460,550円	駒ヶ谷地区	123,000円
羽曳が丘地区	365,850円	事務局扱い	272,500円
合 計			2,710,848円

(民生委員校区别実績額)

校区名	実績額	校区名	実績額
古市校区	478,000円	高鷲南校区	69,000円
古市南校区	79,500円	高鷲校区	163,081円
白鳥校区	272,000円	駒ヶ谷校区	85,000円
埴生南校区	70,525円	高鷲北校区	166,000円
埴生校区	72,500円	丹比校区	296,000円
西浦校区	172,500円	恵我之荘校区	254,500円
西浦東校区	108,000円	主任児童委員	29,000円
羽曳が丘校区	15,000円		
合 計			2,330,606円

※ 配分委員会 令和4年11月22日(市役所別館 2階研修室)

配分内容

民生児童委員協議会福祉活動費、校区福祉委員会推進費、子育てサロン運営費、子ども食堂運営費
児童養護施設お年玉、サンタクロース訪問(児童養護施設等に会長・副会長参加) 他

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

献血推進協議会委員及び献血推進員と連携を図り事業の活性化に努めました。

献血推進協議会委員及び献血推進員合同会議

令和4年4月20日(市役所別館 2階研修室) 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止

・啓発活動

市広報紙、社協だより及びホームページに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

羽曳野ライオンズクラブ、羽曳野ロータリークラブと共催開催を実施し多くの協力をいただきました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内及等において献血キャンペーン用のポケットティッシュ及び絆創膏を配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ml 採血	400ml 採血
1, 239人	1, 027人	133人	894人

・義援金受付及び被災地支援活動

・義援金の受付

令和4年8月3日大雨義援金	令和5年3月末現在	260,817円
2023年トルコ・シリア地震救援金	令和5年3月末現在	364,921円
ウクライナ人道危機救援金 (社協受付分 全額 日本赤十字社大阪府支部に送金)	令和5年3月末現在	145,674円

■ 職員研修会

・人権研修

全職員対象にDVDなどによる人権研修会を開催 115名
(事務局45名・あおぞら保育園34名・ベビーハウス社協36名)
役職者を対象にDVDなどによるハラスメント研修会を開催

■ 保育園の運営

あおぞら保育園

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	137	138	139	139	145	146	146	147	148	148	149	149	1,731

※認可定員：120人

保育内容

入園式・進級式・検便(年1回)・検尿検査(年2回)・嘱託医による健康診断(年2回) 歯科検診(年1回)
園外保育(年8回)・個人懇談・保育参観・七夕まつり・夕べの会・運動会・クリーン活動・芋掘り
味覚狩り・作品展・消防訓練・交通安全講習会・餅つき大会・節分・生活発表会・お別れバス遠足
お別れ会・修了式・卒園式・食育ランチルーム・身体測定・避難訓練・お誕生日会(毎月1回)

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	0	4	1	1	1	2	6	10	2	0	0	0	27

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	9	12	10	5	8	8	8	3	3	6	4	11	87

特別教室の実施

- ・英会話教室(ECC)
 - ・ダンス教室・体育教室
- ※ 3歳児より導入

子育て支援事業

- ・育児相談(開園中常時)
- ・園庭開放(年11回)
- ・子育て支援自主事業
(年18回 地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う)

地域交流

- ・防災訓練(地域の親子参加) 9月
- ・おもちつき会(地域の親子参加) 12月
- ・新年子どもの会(地域の親子参加) 1月
- ・交通安全講習会(地域の親子参加) 2月
- ・園児の祖父農園(芋掘り) 10月
- ・中川さんの農園(芋掘り) 10月
- ・教育実習生受け入れ 7月1人 8月1人 9月6人 11月2人 計10人
- ・ボランティア受け入れ 7月2人 8月4人 計6人

職員研修

- ・0.1.2歳児保育専門ゼミナール 1人(6/22.7/11.9/14.10/12.11/9.12/12.1/17.2/1)
- ・子どもと共に成長し続ける保育者であるために 全職員(6/8)
- ・乳幼児期のていねいな保育実践 全職員(6/21)
- ・スマイルサポーター 1人(6/2.7/1.7/14.7/27.8/10.9/7.9/16.10/6)
- ・障がい児保育 1人(6/8)
- ・感染症、食中毒予防 1人(6/13)
- ・保育を高める研修集会 1人(6/30)
- ・キャリアアップ研修(乳児保育) 5人(8月オンライン研修)
- ・キャリアアップ研修(幼児保育) 1人(5月オンライン研修)
1人(7月オンライン研修)
- ・キャリアアップ研修(障がい児保育) 1人(4月オンライン研修)
1人(5月オンライン研修)
1人(7月オンライン研修)
1人(9月オンライン研修)
- ・キャリアアップ研修(食育アレルギー) 3人(5月オンライン研修)
- ・キャリアアップ研修(保健衛生) 2人(5月オンライン研修)
1人(11/2.11/4.11/11)
- ・キャリアアップ研修(マネジメント) 1人(5月オンライン研修)
2人(10月オンライン研修)
- ・木育インストラクター養成講座 1人(7/28)
- ・幼児のための絵画指導入門 1人(7/29)
- ・0.1歳児の赤ちゃんの遊びと手作りおもちゃ 4人(7月オンライン研修)
- ・食べて動いてよく寝よう運動のすすめ 8人(7月オンライン研修)
- ・食べ力を引き出す未満児の食育遊び 7人(7月オンライン研修)
- ・身近なもので簡単に楽しめる食育遊び 5人(7月オンライン研修)
- ・保育所における事故防止 全職員(7/1 オンライン研修)
- ・事故防止 1人(7/4)
- ・心肺蘇生 24人(7/6~7/8 園内研修)
- ・幼児音楽教育 1人(8/4)
- ・栄養士セミナー 1人(9月オンライン研修)
- ・コミュニケーション 8人(9月オンライン研修)
- ・リスクマネジメント 1人(10/24)
- ・こどもの遊びの理解について 2人(10/3 オンライン研修)
- ・感染症予防対策講習 1人(11/2.8)
- ・乳幼児の一時救命処置 1人(11/15)
- ・保育リスクマネジメント 2人(11/18)
- ・子どものためにより良い保育 13人(11月オンライン研修)
- ・子どもの虐待防止 15人(1月オンライン研修)
- ・スマイルサポーター事例報告 1人(1/27)
- ・DIG体験 1人(1/30)
- ・自然体験保育 2人(2/9)
- ・につぼ保育セミナーアンコール配信 10人(2月オンライン研修)
- ・人権研修 34人(DVD)

ベビーハウス社協

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	135	135	136	136	135	135	135	135	135	135	135	135	1,622

※認可定員：120人

保育内容

入園進級式、個人懇談(年2回)、幼児遠足(春・秋)、フリー参観(年2回)、
ECC(3歳児一年15回(10月～)、4・5歳児一年30回)、ダンス(3・4・5歳児一年30回)、七夕、
プール活動、スペシャルサマーデー(5歳児)、検便・尿検査(年1回)・内科検診(年2回)、
歯科検診(年1回)、運動会(3～5歳児)、クッキー作り、クリスマス会、節分、お別れ遠足、
ひなまつり、ゆめっこの会、卒園式
※毎月1回お誕生日会、避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	72	66	64	74	86	104	93	110	104	97	94	103	1,067

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	42	36	35	37	25	29	20	14	28	11	12	16	305

緊急一時保育

7時～20時

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野 市内の 園児数	152	132	178	184	148	171	172	187	202	187	208	231	2,152
他市町 村の園 児数	1	1	3	1	2	1	2	14	4	3	10	19	61

子育て支援事業

- ・園庭開放(ベビっこひろば)(年9回)
- ・子育てサロン(年3回)：たかなんサロンへの保育士派遣
- ・育児等相談

地域貢献支援事業

- ・生活困窮者レスキュー(2回)
- ・物資の支援(3回)

地域交流

- ・1年生地域学習(高鷲南中学校) 6名 11/17
- ・教育実習生の受け入れ 計6人
 - 関西女子短期大学 保育科 1名 2年 7/29~8/12
 - 1名 2年 7/29~8/6、25、26
 - 箕面学園福祉保育専門学校 保育科 1名 2年 8/4~17
 - 関西女子短期大学部 保育科 2名 1年 1/26~2/7
 - 大阪芸術大学短期大学部 保育学科 1名 1年 2/13~24
- ・四天王寺短期大学保育部「出前保育実習」の受け入れ 20名(12/6)
- ・ボランティア受け入れ 中央ITビジネス専門学校 2名(7/25~30)

職員研修

保育士研修

- ・危機管理危機対応研修 1名(4/16)・2名(4/17)・2名(7/8)
- ・キャリアアップ研修(障害児保育)(eラーニング・ZOOM) 1名(5/30~・7/9)
- ・感染症・食中毒予防対策講習会(動画視聴型) 1名(6/22)
- ・事故防止研修 1名(7/11)
- ・救急蘇生DVDによる研修(全職員)(6/・17)
- ・保育士等キャリアアップ研修(乳児保育)(eラーニング・ZOOM) 2名(12/8~・1/14)
- ・健康と安全研修会 1名(11/15)
- ・羽曳野市福祉施設連絡会研修 1名(3/3)
- ・人権研修DVD研修 36名(3/24)